

第2回 気高地域学校統合に関する関係者会議の概要について

教育総務課校区審議室

1 日 時 令和4年12月13日（火） 14時～15時20分

2 会 場 気高町総合支所

3 出席者 【委員】19名 欠席2名 【気高町総合支所】職員5名
【教育委員会事務局（教育総務課校区審議室）】職員3名

4 協 議

（1）新設校設置位置の特徴・課題等について（意見）

○新しい小学校には防災に関するようないろいろな整備等をしていくことで拠点化が図れると思う。

⇒（事務局回答）：新しくできる学校には、当然そういった機能をもたせていくことになる。今後小学校にどういった機能を持たせていくのか検討していく必要があると考えている。

○新設校には気高町全域から自動車に乗ってこられる方も多いと思うので、防災面や学校行事のことを考えると、学校敷地の中に駐車場をしっかりと整備していただきたい。

○県が進めている「浜村川水系河川整備計画」に基づいた河川整備の取組内容などを説明にいられておかないと、この地域の方々の水害に関する安心感が高まってこない。

○他の委員から、プールについて既存の公共施設を活用してはどうかという意見が出されていたが、学校のプールは身近にあった方が良いと思う。

○保護者や地域住民が、新しい学校の基本設計に関して意見を言えるような機会があるのか。

⇒（事務局回答）：新しく学校を建てることになれば節目ごとにご意見を聞いていく必要があると考えている。場合によっては、後期の学校統合準備委員会を前倒しで設置し話し合いを始めるということも考えられる。

○土地購入の前には、学校だけでなく、まちづくりのランドデザインのようなものを地域の方も巻き込みながら作っておく必要があると思う。

○後期学校統合準備委員会では、より保護者の意見を言いやすい場となるような工夫をしていただきたい。また、多様な意見を吸い上げるためにも、保護者の参加人数を増やすなどの検討をしていただきたい。

○長期的に見て、気高地域の子ども達が学校を卒業しても、ここに住み続けたいと思えるようなまちづくりを見据えた中でこの話を進めている。学校づくりは教育委員会で進めるものだと思っているが、まちづくりは気高支所で進めていくものだと思っている。新設校の位置が決まりつつある中で、学校の統合にあわせてどのようなまちを作っていくのか、支所に発信するような体制づくりをお願いしたい。今ある施設をどうやって活用していけば気高の地域が面白くなるのかなど、支所がもっとイニシアチブをとるべきだと思う。

→（事務局回答）：支所としても気高地域の20年、30年後を見据え、どうやったら地域が発展していくのか検討していきたい。

○今後の議論の中に、中・高生など若者を交え、様々な意見を取り入れながら進めてほしい。

○学校施設の防災設備の新しい取り組みとして、京都の小学校では校庭にマンホールトイレを設置できるように整備したと聞いている。このような新しい発想を取り入れながら、夢のある学校づくりを進め、将来のまちづくりをどう描いていくのか、地域と行政がやりとりしながら進めていく必要があると感じている。

(2) その他

○今後の学校施設の整備に向けたスケジュールを、もう少し詳しく教えていただきたい。

⇒（事務局回答）：仮に新しい場所で学校づくりを進めることになれば、土地購入に関する目途がたったあとに、新設校の位置等に関する方針を示していくことになる想定している。その後、どのような学校施設としていくのか、具体的に検討していくことになる。

5 今後の動きについて

○これまでにいただいた学校の設置場所等に関する意見を、会長・副会長でまとめ報告書の案を作成。報告書の案について、各委員による内容確認の後、気高地域のまちづくりを見据えた意見として教育長へ提出予定。